

第37回日本環境感染学会総会・学術集会
オンデマンド配信リスト

2022/6/13時点

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者（所属） ※敬称略 |
|--------------|---------------|----------|---|--|
| 会長講演 | - | ○ | コロナ時代の感染制御を学ぶ ～環境感染学会ができること～ | 吉田 正樹 (東京慈恵会医科大学 感染制御科) |
| 副会長講演 | - | ○ | コロナ時代の感染制御を学ぶ ～ICNの視点～ | 小野 和代 (東京医科歯科大学 統合診療機構) |
| 特別講演 1 | - | ○ | 薬剤耐性菌の現状と今後の課題 | 松本 哲哉 (国際医療福祉大学医学部 感染症学講座) |
| 特別講演 2 | - | 未定 | 自治体における新型コロナウイルス感染症危機管理 - 東京iCDCの発足とその活動 - | 賀来 満夫 (東北医科薬科大学医学部 感染症学教室) |
| 特別講演 3 | - | ○ | 我が国における新型コロナウイルス感染症対策 | 岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所) |
| 招請講演 1 | - | ○ | 蚊媒介感染症の制御の最前線 | 嘉藤 洋陸 (東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座) |
| 招請講演 2 | - | ○ | 感染症の数理モデル | 西浦 博 (京都大学 大学院医学研究科) |
| 招請講演 3 | - | × | WHOから見る新興再興感染症をめぐる最近の動き | 進藤 奈邦子 (世界保健機関) |
| 教育講演1 | - | × | 消毒薬まるわかり解説 | 中川 博雄 (長崎大学病院 薬剤部) |
| 教育講演2 | - | ○ | 細菌検査の流れと結果の読み方 | 龍野 桂太 (三井記念病院 感染制御部) |
| 教育講演3 | - | ○ | 地域を巻き込む抗菌薬適正使用活動のポイント | 倉井 華子 (静岡県立静岡がんセンター 感染症内科) |
| 教育講演4 | - | 未定 | ワクチンと免疫応答 | 金城 雄樹 (東京慈恵会医科大学 細菌学講座) |
| 教育講演5 | - | ○ | 集団発生時の疫学調査の進め方 | 加来 浩器 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター) |
| 教育講演6 | - | ○ | WHO手指衛生多角的戦略に基づく“Train the Trainer” 手指衛生指導者育成セミナー：“Adapt to Adopt” | 齋藤 浩輝 (聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター・感染制御室) |
| 教育講演7 | - | ○ | COVID-19クラスター対応でみえた感染制御のポイント | 黒須 一見 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 実地疫学研究センター) |
| 教育講演8 | - | 未定 | 高齢者施設、重症心身障害児施設におけるクラスター対策のポイント | 山岸 拓也 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター) |
| 教育講演9 | - | ○ | 感染予防のための個人防護具(PPE)とロジスティクス | 満田 年宏 (東京女子医科大学感染制御科) |
| 教育講演10 | - | ○ | COVID-19パンデミックが院内感染発生に与えた影響 | 掛屋 弘 (大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学) |
| 教育講演11 | - | ○ | ノロウイルス感染症に対する病院感染対策 - 早期発見・早期隔離 - | 黒沼 幸治 (札幌医科大学 医学部 呼吸器・アレルギー・内科学講座) |
| 教育講演12 | - | ○ | どうあるべきか 医療施設の空調管理 | 郡 明宏 (鹿島建設(株) 建築設計本部) |
| 教育講演13 | - | 未定 | 我が国の薬剤耐性菌の動向 | 菅井 基行 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター) |
| 教育講演14 | - | ○ | 感染症のこれまでとこれから～AMRと新型コロナウイルス感染症をどう捉えるか～ | 大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター) |
| 教育講演15 | - | ○ | 新型コロナウイルスの下水からの検出による疫学調査 | 北島 正章 (北海道大学 大学院工学研究院 環境工学部門) |
| 教育講演16 | - | ○ | 薬剤耐性菌対策としての環境制御の重要性と非接触型環境浄化の展望 | 森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院) |
| 教育講演17 | - | ○ | 新たな感染症危機管理：COVID-19の経験を踏まえて | 齋藤 智也 (国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター) |
| Top Papers | - | 未定 | この1年間の感染制御領域のTop Ten Papers | 本田 仁 (東京都立多摩総合医療センター感染症科) |
| | | ○ | | 森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院) |
| ベーシックレクチャー1 | - | ○ | 標準予防策 | 坂本 晴世 (国際医療福祉大学大学院) |
| ベーシックレクチャー2 | - | ○ | 飛沫・空気感染対策 | 森 美菜子 (広島大学病院 感染制御部) |
| ベーシックレクチャー3 | - | ○ | 環境整備とゾーニング | 大友 陽子 (国際医療福祉大学成田病院 感染制御部) |
| ベーシックレクチャー4 | - | ○ | サーベイランス | 藤田 烈 (国際医療福祉大学 未来研究支援センター) |
| ベーシックレクチャー5 | - | ○ | 接触感染対策と手指衛生 | 中根 香織 (昭和大学病院 看護部) |
| ベーシックレクチャー6 | - | 未定 | 消毒薬について | 北原 隆志 (山口大学医学部附属病院 薬剤部) |
| ベーシックレクチャー7 | - | ○ | 抗菌薬の投与設計とモニタリング | 松元 一明 (慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座) |
| ベーシックレクチャー8 | - | 未定 | 薬剤耐性菌の検査法 | 石井 良和 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座) |
| ベーシックレクチャー9 | - | ○ | 結核と感染対策 | 西村 知泰 (慶應義塾大学 保健管理センター) |
| ベーシックレクチャー10 | - | ○ | 血液体液曝露時の対応 | 堀野 哲也 (東京慈恵会医科大学 感染制御科) |
| ベーシックレクチャー11 | - | 未定 | 病態から考えるインフルエンザとCOVID-19の感染対策 | 関 雅文 (埼玉医科大学医学部 国際医療センター 感染症科・感染制御科) |
| シンポジウム1 | 新興・再興感染症の感染対策 | ○ | 呼吸器感染症（レジオネラ、鳥インフルエンザ、MERSを含む） | 中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部・感染症科) |
| | | ○ | ウイルス性出血熱の感染対策 | 倭 正也 (りんくう総合医療センター 感染症センター) |
| | | ○ | 蚊媒介感染症の感染対策 マラリア、デング熱など | 保科 育生 (東京慈恵会医科大学 感染制御科) |
| | | ○ | ダニ媒介感染症（日本紅斑熱、SFTS等） | 岩崎 博道 (福井大学医学部附属病院 感染制御部・感染症膠原病内科) |

第37回日本環境感染学会総会・学術集会
オンデマンド配信リスト

2022/6/13時点

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者（所属） ※敬称略 |
|----------|---|----------|---|--|
| シンポジウム2 | COVID-19の効果的な予防策をめぐり | ○ | スパコン富岳による飛沫・飛沫核感染リスク評価のデジタルトランスフォーメーション | 坪倉 誠 (神戸大学大学院 システム情報学研究所) |
| | | ○ | マイクロ飛沫/エアロゾルによる感染伝播に対するエンジニアリング | 田辺 新一 (早稲田大学 創造理工学部 建築学科) |
| | | ○ | 医療施設内でのCOVID-19感染症対策で知っておくべき換気に関すること | 堀 賢 (順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学) |
| | | × | 感染性ウイルスの環境中における汚染状況 | 花木 秀明 (北里大学 大村智記念研究所 感染制御研究センター 感染創薬学) |
| シンポジウム3 | 実践的耐性菌対策-自施設で行っている工夫- | ○ | NICUにおける耐性菌対策 | 石黒 信久 (北海道大学病院 感染制御部) |
| | | ○ | ICNが実践する耐性菌ラウンド～接触予防策の適応を判断する～ | 一木 薫 (兵庫医科大学病院 感染制御部) |
| | | ○ | アウトブレイクを発生させないための耐性菌の早期検知と対応 | 鍋谷 佳子 (大阪大学医学部附属病院 看護部 感染制御部) |
| | | ○ | 環境調査の有効的活用法 | 塚田 真弓 (東邦大学医療センター大森病院 感染管理部) |
| | | 未定 | 耐性菌対策における地域連携 | 浮村 聡 (大阪医科大学大学院 感染対策室) |
| シンポジウム4 | VRE対応の経験に学ぶ | × | 八戸市立市民病院でのVRE対応 | 大澤 純子 (八戸市立市民病院 感染対策室) |
| | | ○ | 青森県立中央病院におけるVRE感染対策と今後の課題 | 今 めぐみ (青森県立中央病院) |
| | | ○ | Interhospital transmission of Vancomycin-resistant Enterococcus faecium in Aomori | 齋藤 紀先 (弘前大学医学部附属病院 感染制御センター) |
| | | ○ | 海外・国内でのバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) の分離状況 | 鈴木 里和 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 第1室) |
| シンポジウム5 | リンクナースの育成と活動の活性化に向けて | ○ | リンクナースのやる気スイッチを押し続ける鍵は「成果の可視化」と「コミュニケーション」 | 池田 知子 (埼玉医科大学総合医療センター) |
| | | ○ | リンクナースとともに実践する手指衛生 | 橋本 麻子 (国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院) |
| | | ○ | リンクナースの活性化と育成 | 古谷 直子 (亀田総合病院 地域感染症疫学・予防センター) |
| シンポジウム6 | 高齢者施設における薬剤耐性菌対策の課題と対策 | ○ | 高齢者介護施設における薬剤耐性菌保菌の実態と保菌の関連因子について | 小椋 正道 (東海大学 医学部 看護学科) |
| | | ○ | 高齢者医療施設における薬剤耐性菌保菌と予後の関連 | 矢原 耕史 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター) |
| | | ○ | ファシリテータマネジメントの考え方とその実践 | 吉田 真紀子 (東北医科薬科大学 医学部 感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座) |
| | | ○ | 感染対策の今後のあり方 | 國島 広之 (聖マリアンナ医科大学 感染症学講座) |
| シンポジウム7 | 真菌感染症対策 | ○ | 屋外環境中の病原真菌 - 人獣共に見られる感染症としての視点から- | 豊留 孝仁 (帯広畜産大学 獣医学研究部門) |
| | | ○ | 病院環境中の真菌 | 田代 将人 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野) |
| | | ○ | 病原真菌の探索～住宅・大学病院・文化財保存施設・喀痰の真菌調査から～ | 川上 裕司 (東京家政大学 環境教育学科 生物工学研究室) |
| | | ○ | 院内感染としての真菌感染症 | 渡辺 哲 (千葉大学 真菌医学研究センター 臨床感染症分野) |
| シンポジウム8 | アウトブレイクの発生探知から効果的な関与と工夫 | ○ | アウトブレイクの発生探知と初期対応 | 飯沼 由嗣 (金沢医科大学 臨床感染症学) |
| | | ○ | コロナ禍で起きたVREのアウトブレイク：感染対策の再確認 | 岡田 恵代 (大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部) |
| | | ○ | 注意すべき院内流入する耐性菌 (MRSA・ESBL) とその対策 | 小野寺 直人 (岩手医科大学附属病院 感染制御部) |
| | | ○ | 検査室から発信：Clostridioides difficileの感染制御 | 幸福 知己 (一般財団法人 住友病院 臨床検査科) |
| シンポジウム9 | CRE：もはや脅威ではないのか？ | ○ | CREの疫学 - 発生動向調査と現場をつなぐ視点 | 島田 智恵 (国立感染症研究所 実地疫学研究センター) |
| | | × | CREアウトブレイクの経験 | 上平 朝子 (国立病院機構大阪医療センター 感染制御部) |
| | | ○ | CREの感染対策に関する基本とピットフォール | 坪倉 美由紀 (国立病院機構 大阪医療センター 感染制御部) |
| | | ○ | CRE：もはや脅威ではないのか ～CREの検査～ | 佐藤 智明 (国際医療福祉大学 成田病院 検査部) |
| シンポジウム10 | コロナ禍における感染防止に配慮した医療関係職種への教育～特に実習・演習に関して | ○ | 医学部における対応 | 山本 善裕 (富山大学附属病院 感染症科) |
| | | ○ | コロナ蔓延下における日本赤十字豊田看護大学の臨地実習への教育的取り組み | 下間 正隆 (日本赤十字豊田看護大学) |
| | | ○ | 歯学部における対応 | 道 泰之 (東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 顎口腔外科学分野) |
| | | ○ | コロナ禍における医学教育のありかた ～診療現場における教育を中心に～ | 伊藤 俊之 (滋賀医科大学 医学部 医学・看護学教育センター) |
| シンポジウム11 | COVID-19クラスター対応における自治体（行政）と医療機関での連携 | × | COVID-19クラスター対応における保健所の取り組み | 渡邊 佳奈 (高崎市保健所 保健医療部 保健予防課) |
| | | ○ | 衛生研究所での取り組み | 鈴木 智之 (滋賀県健康医療福祉部感染症対策課) |
| | | × | 都道府県における取り組み | 黒澤 克樹 (茨城県 保健医療部 感染症対策課) |
| | | ○ | 札幌市保健所クラスター対策班と共同して取り組んだ感染対策 | 萩野 貴志 (NTT東日本札幌病院 看護部) |

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者(所属) ※敬称略 |
|--------------------------|--|----------|--|--|
| シンポジウム12 ViiV医学教育事業助成 | HIV患者の受け入れ施設での感染対策 | ○ | HIV患者の受け入れ施設での感染対策～クリニックでの対応～ | 柳澤 如樹 (柳沢クリニック) |
| | | ○ | 高齢者施設における対応・対策 | 塩入 久美子 (長岡赤十字病院 感染管理室) |
| | | ○ | HIV患者の受け入れ施設での感染対策 ー歯科医院での対応ー | 鷺川 勝吉 (にえかわ歯科医院) |
| | | ○ | HIV患者の受け入れ施設での感染対策 ～透析施設での対応～ | 鈴木 裕子 ((医) 慶寿会 さいたまつきの森クリニック 看護部) |
| シンポジウム13 | ASTの効果的な運用と成果を出すためには -各職種の役割と実践効果- | ○ | ASTにおける薬剤師の取り組みとその成果 | 尾崎 昌大 (東海大学医学部付属八王子病院 薬剤科) |
| | | ○ | 微生物検出情報の活用と感染症診療への貢献 | 大城 健哉 (那覇市立病院 医療技術部 検査室) |
| | | ○ | AST活動における看護師の役割と効果的なかわり | 四宮 聡 (箕面市立病院 感染制御部) |
| | | ○ | 感染症コンサルテーションとAST活動 | 具 芳明 (東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野) |
| シンポジウム14 | 動物由来感染症対策 | ○ | 動物由来薬剤耐性菌の現状と抗菌薬の適正使用 | 臼井 優 (酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 食品衛生学ユニット) |
| | | × | 海産魚類養殖における抗菌剤使用の現状 | 福田 稯 (大分県農林水産研究指導センター 水産研究部) |
| | | ○ | 動物由来感染症対策 愛玩動物の感染症と抗菌薬の適正使用 | 村田 佳輝 (むらた動物病院) |
| | | ○ | 動物由来感染症と感染対策 | 保科 斉生 (東京慈恵会医科大学 感染制御科) |
| シンポジウム15 | Clostridioides difficile 感染症に関わる感染制御 | ○ | CDIの院内伝播総論 | 山岸 由佳 (高知大学医学部 臨床感染症学講座) |
| | | ○ | C. difficile 感染症 (CDI) の接触予防策 | 一木 薫 (兵庫医科大学病院 感染制御部) |
| | | × | CDIの環境リスク | 藤村 茂 (東北医科薬科大学 大学院薬学研究所 臨床感染症学教室) |
| | | ○ | CDIのアウトブレイク対応 | 中村 敦 (名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学) |
| シンポジウム16 | インフルエンザ『キホンから感染対策まで』 | ○ | 子どものインフルエンザ | 田村 大輔 (自治医科大学 小児科) |
| | | ○ | 成人のインフルエンザ | 藤田 次郎 (おもと会グループ 大浜第一病院) |
| | | ○ | 看護師が行うインフルエンザ対策 | 田村 祐子 (慶應義塾大学病院 看護部) |
| | | ○ | 医師が行うインフルエンザの感染対策 | 石黒 信久 (北海道大学病院 感染制御部) |
| シンポジウム17 | 新型コロナだけではなく 私たちに必要な予防接種 ー“医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版”とその活用ー | ○ | ガイドラインのポイント | 多屋 馨子 (神奈川県衛生研究所) |
| | | 未定 | “新型コロナだけではなく 私たちに必要な予防接種”ー看護師の立場から | 内田 美保 (聖徳大学 看護学部) |
| | | ○ | がん専門病院におけるVaccine Preventable Diseases, VPD予防の取り組み | 小林 治 (国立がん研究センター中央病院 感染症部・感染制御室) |
| | | ○ | まとめ・今後の展望 | 中野 貴司 (川崎医科大学 小児科学) |
| シンポジウム18 | 新型コロナウイルスの院内感染対策としての 検査のあり方 | ○ | 新型コロナウイルスの院内感染対策としての検査のあり方 | 日暮 芳己 (東京大学 医学部 附属病院 感染制御部) |
| | | ○ | 感染対策としてのPCR検査 | 泉川 公一 (長崎大学大学院歯歯学総合研究科 臨床感染症学分野) |
| | | ○ | 抗原定量検査と院内感染対策 | 高橋 聡 (札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座) |
| シンポジウム19 | ICT活動における薬剤師の積極的な関与：実例集 | ○ | 薬剤師が行う手指衛生遵守率向上への試み | 高橋 佳子 (兵庫医科大学病院 薬剤部) |
| | | ○ | Withコロナ時代に求められる環境ラウンドと薬剤師が甲さておきたいポイント | 千葉 博暁 (東北公済病院 薬剤科 AST) |
| | | ○ | 抗菌薬の適正使用を推進するための工夫 | 丹羽 隆 (岐阜大学 医学部 附属病院 薬剤部) |
| | | ○ | 薬剤師が担う感染対策地域連携 | 酒井 義朗 (久留米大学病院 薬剤部) |
| シンポジウム20 | 環境制御 | ○ | 環境制御が有用な病原体 | 金森 肇 (東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 総合感染症学分野) |
| | | ○ | アシネトバクター集団発生の経験から考える環境整備の問題点 | 橋本 丈代 (福岡大学病院 感染制御部) |
| | | ○ | 環境を消毒する必要性とその手段 | 西 圭史 (日本大学 薬学部 薬剤師教育センター) |
| | | ○ | No-touch disinfectionの有効性 | 北川 浩樹 (広島大学病院 感染症科) |
| シンポジウム21 | 病院環境の整備：リスクのチェックと効果的な対策 | ○ | 何とかしたい耐性菌患者のベッドサイド | 野田 洋子 (金沢医科大学病院 医療安全部 感染制御室) |
| | | ○ | やっぱり危ない汚物処理室・畜尿 | 佐藤 昭裕 (KARADA内科クリニック) |
| | | ○ | 実は怖い水道設備や水回りの環境 | 田中 恵美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 感染対策室) |
| | | 未定 | 改めて知りたい内視鏡室の環境 | 中澤 靖 (東京慈恵会医科大学附属病院感染対策部) |
| シンポジウム22 | COVID-19は感染対策の追い風になったのか ー標準予防策の推進 | × | 病棟での感染対策はどう変わったのか | 上灘 紳子 (鳥取大学医学部附属病院 感染制御部) |
| | | ○ | 外来・救急外来での感染対策はどう変わったのか | 新居 晶恵 (三重大学医学部附属病院 感染制御部) |
| | | ○ | 手術室での感染対策はどう変わったのか (術前スクリーニングを含む) | 種岡 貴子 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部感染対策室) |
| | | ○ | COVID-19で手指衛生に変化はあったのか | 眞榮城 咲子 (琉球大学病院 感染対策室) |

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者(所属) ※敬称略 |
|----------|--|-----------------------|--|--|
| シンポジウム23 | こんなときどうする？TDMで異常な血中濃度になったら | <input type="radio"/> | ポリソノールの血中濃度が治療域にない場合 | 花井 雄貴 (東邦大学薬学部 臨床薬学研究室) |
| | | <input type="radio"/> | アミノグリコチド系薬の血中濃度が治療域にない場合 | 藤居 賢 (札幌医科大学附属病院 薬剤部) |
| | | <input type="radio"/> | もしもバンコマイシンの血中濃度が治療域になかったら | 尾田 一貴 (熊本大学病院 薬剤部) |
| | | <input type="radio"/> | テイコプラニン血中濃度評価のTips | 山田 智之 (大阪医科大学 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室) |
| シンポジウム24 | 感染対策のためのコミュニケーションと交渉術 | 未定 | 感染対策のためのコミュニケーションと交渉術 :人(管理者を含む)を動かす交渉術とは | 本田 仁 (東京都立多摩総合医療センター) |
| | | <input type="radio"/> | 自分の前に立ちほだかる壁を超えるためのスキル「コミュニケーション力」と「交渉術」 | 池田 知子 (埼玉医科大学総合医療センター) |
| | | <input type="radio"/> | 組織・地域を巻き込む交渉術 | 浦上 宗治 (佐賀大学医学部附属病院 感染制御部) |
| | | <input type="radio"/> | データを活かす交渉術 | 清祐 麻紀子 (九州大学病院 検査部) |
| シンポジウム25 | 新たなワクチンと展望 | <input type="radio"/> | コロナ時代の帯状疱疹ワクチン | 渡辺 大輔 (愛知医科大学 医学部 皮膚科学講座) |
| | | <input type="radio"/> | 小児のためのワクチン | 森内 浩幸 (長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 小児科) |
| | | <input type="radio"/> | HPVワクチンの展望 | 高橋 聡 (札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座) |
| | | <input type="radio"/> | 熱帯感染症におけるワクチン | 有吉 紅也 (長崎大学 熱帯医学研究所) |
| シンポジウム26 | 結核を取り巻く話題 | <input type="radio"/> | COVID-19による結核の疫学に対する影響 | 加藤 誠也 (結核予防会結核研究所) |
| | | <input type="radio"/> | コロナ禍をもたらした抗菌薬検査の変化 | 上養 義典 (慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学) |
| | | <input type="radio"/> | COVID-19と結核 | 佐々木 結花 (国立病院機構 東京病院 呼吸器センター 呼吸器内科) |
| | | <input type="radio"/> | 潜在性結核感染症の治療 up-to-date | 猪狩 英俊 (千葉大学 医学部 附属病院 感染制御部) |
| | | <input type="radio"/> | 医療関連感染としてのNTM症 | 伊藤 稯 (名古屋市立大学 大学院医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー・内科学) |
| シンポジウム27 | 術野消毒の実際、どうしてますか ～安全な手術とSSI低下を目指して～ | <input type="radio"/> | 消化器外科領域の安全で有効な術野消毒 | 畑 啓昭 (国立病院機構 京都医療センター 外科・感染制御部) |
| | | <input type="radio"/> | 泌尿器科領域の安全で有効な術野消毒 | 安田 満 (札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座) |
| | | 未定 | 頭頸部再建外科 | 保富 宗城 (和歌山県立医科大学医学部) |
| | | <input type="radio"/> | 産婦人科の術野消毒 | 吉村 和晃 (産業医科大学若松病院) |
| | | <input type="radio"/> | 特別発言：安全で効果的な術野消毒に向けて | 大久保 憲 (医療法人幸寿会平岩病院) |
| シンポジウム28 | 高齢者介護施設における 新型コロナウイルスの感染対策 | <input type="radio"/> | 高齢者福祉施設COVID-19クラスターにおける病院の役割 | 田中 健之 (長崎大学病院 感染制御教育センター) |
| | | <input type="radio"/> | 新型コロナウイルス感染症に対するDMAT対応 | 近藤 久禎 (国立病院機構本部DMAT事務局) |
| | | <input type="radio"/> | 新型コロナウイルスに施設管理者としてどう対応するか | 伊藤 慎介 (公益社団法人地域医療振興協会 介護老人保健施設市川ゆうゆう) |
| | | <input type="radio"/> | 一般市の高齢者介護施設における新型コロナウイルスの感染対策 | 中沢 豊 (松戸市 福祉長寿部) |
| | | <input type="radio"/> | 高齢者施設のCOVID-19対策における学会としての対応 | 菅原 えりさ (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学) |
| シンポジウム29 | 感染制御のマネジメント、何が大事？ ～COVID-19対応を踏まえて～ | <input type="radio"/> | 病院管理者の立場で考えるマネジメント | 小池 竜司 (東京医科歯科大学病院) |
| | | 未定 | 感染症診療・感染制御のトップマネージャーの立場から考えるマネジメント | 本田 仁 (東京都立多摩総合医療センター感染症科) |
| | | <input type="radio"/> | 看護管理者の立場から考えるマネジメント | 井川 順子 (京都大学医学部附属病院 看護部) |
| | | <input type="radio"/> | 感染管理の実務者の立場から考えるマネジメント | 三浦 美穂 (久留米大学病院 感染制御部) |
| 委員会企画1 | 高齢者・介護・福祉施設の感染対策 ：見えてきた課題と今後の取り組み | × | 医療機関の感染対策チームの視点からみた 高齢者施設における問題点と改善策 | 寺坂 陽子 (長崎大学病院 感染制御教育センター) |
| | | <input type="radio"/> | 都市部における社会福祉施設の感染対策支援体制の構築 ～クラスター支援の経験を通して見えてきた課題と今後の取り組み～ | 岡田 恵代 (大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部) |
| | | <input type="radio"/> | 日本看護協会が行う高齢者施設における感染対策と育成支援の報告 | 森下 幸子 (公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程) |
| | | <input type="radio"/> | 施設内感染対策における行政（特に保健所）との連携 | 三崎 貴子 (川崎市健康安全研究所) |
| 委員会企画2 | ワクチンに関するコミュニケーションについて考える | <input type="radio"/> | リスクコミュニケーション総論 | 小杉 素子 (静岡大学大学院工学領域) |
| | | <input type="radio"/> | クライシスコミュニケーションの実践 次の感染症危機対応に備える | 田崎 陽典 (TAZAKIコミュニケーションコンサルティング) |
| | | <input type="radio"/> | ワクチンに関するコミュニケーションについて考える-HPVワクチンに関する リスクコミュニケーション- | 岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所) |
| | | <input type="radio"/> | 新型コロナワクチンをめぐる市民の意識とリスクコミュニケーション -期待と不安のモザイク- | 奈良 由美子 (放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム) |

第37回日本環境感染学会総会・学術集会
オンデマンド配信リスト

2022/6/13時点

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者（所属） ※敬称略 |
|---|--|----------|--|--|
| 委員会企画3 | 東京2020大会での感染対策のレガシー | ○ | 東京2020大会における感染症イベントベースサーベイランス（EBS）の実際 | 笠松 亜由 （国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース） |
| | | × | 薬剤耐性菌を考慮したインバウンド対策 | 藤村 茂 （東北医科薬科大学 大学院薬学研究科 臨床感染症学教室） |
| | | ○ | 輸入（寄生虫）感染症の検査と治療 | 加来 浩器 （防衛医科大学校 防衛医学研究センター） |
| | | ○ | インバウンド診療時の感染制御の課題 | 國島 広之 （聖マリアナ医科大学 感染症学講座） |
| | | ○ | 沖縄県における新型コロナウイルスの流行と観光再開 | 高山 義浩 （沖縄県立中部病院） |
| 委員会企画4 | 日本環境感染学会ワクチン委員会主催 | ○ | MMRV | 多屋 馨子 （神奈川県衛生研究所） |
| | | ○ | 百日咳含有ワクチン | 岡田 賢司 （福岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎・専門基礎分野） |
| | | ○ | B型肝炎ワクチン | 金井 信一郎 （信州大学 医学部 附属病院 感染制御室） |
| | | ○ | 髄膜炎菌 | 山岸 由佳 （高知大学医学部 臨床感染症学講座） |
| | | ○ | 新型コロナウイルス | 中野 貴司 （川崎医科大学 小児科学） |
| 委員会企画5 「APICとのジョイントプログラム（同時通訳）」 共催：株式会社モレコーポレーション | Risk Communication during COVID-19 Pandemic : Key skills needed as healthcare professionals | 未定 | Risk Communication During the COVID-19 Pandemic : Lessons Learned | Linda Dickey （University of California, Irvine Health, WA, USA, APIC President） |
| | | ○ | コロナ禍における医療従事者に求められるリスクコミュニケーション・クライシスコミュニケーション | 岡部 信彦 （川崎市健康安全研究所） |
| 委員会企画6 「SHEAとのジョイントプログラム（同時通訳）」 | SHEAとのジョイントプログラム（同時通訳） | 未定 | Challenges in ASP Implementation from Pharmacist's and Physician's Perspective | Payel Patel （Assistant Professor, Division of Infectious Diseases, University of Michigan Health System/Medical Director of Antimicrobial Stewardship, VA Ann Arbor） |
| | | 未定 | | Elizabeth Dodds Ashley （Professor of Medicine, Duke University School of Medicine/Operations Director, Duke Antimicrobial Stewardship Outreach Network, Duke Center for Antimicrobial Stewardship and Infection Prevention） |
| 委員会企画7 | 呼吸器感染症パンデミック下の避難所感染対策 | ○ | JSIPC-DICT（災害時感染制御支援チーム）のあゆみと現況 | 櫻井 滋 （（財）みちのく愛隣協会 東八幡平病院 危機管理担当顧問） |
| | | ○ | 新型コロナウイルスパンデミック下の行政の取り組み | 緒方 剛 （茨城県 潮来保健所） |
| | | ○ | DICT賛助企業チームの取り組み | 菅原 えりさ （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学） |
| | | ○ | 呼吸器感染症パンデミック下の避難所感染対策 関西圏での備え | 古宮 伸洋 （日本赤十字社和歌山医療センター） |
| | | ○ | DICT活動におけるDMATとの連携 | 高山 和郎 （東京大学 医学部 附属病院 薬剤部） |
| 委員会企画8 | あなたの病院にもアウトブレイクがやってくる | ○ | - | - |
| 委員会企画9 | 薬剤耐性菌感染対策の効果的な実践と新しい技術の活用 | ○ | 迅速な薬剤耐性菌の検出 | 小佐井 康介 （長崎大学病院 臨床検査科/検査部） |
| | | ○ | COVID-19流行期における薬剤耐性菌感染対策 | 菅野 みゆき （東京慈恵会医科大学附属柏病院） |
| | | ○ | 薬剤耐性菌の遺伝子解析から分かること | 嵯峨 知生 （秋田大学 医学部 附属病院 感染制御部） |
| | | ○ | ASTのタスクフォース-多剤耐性菌治療の観点から- | 浜田 幸宏 （東京女子医科大学病院 薬剤部） |
| 委員会企画10 | NICUを取り巻くさまざまな課題-ICTとしてどう立ち向かう？- | ○ | COVID-19における新生児管理の課題 | 森岡 一朗 （日本大学 医学部 小児科） |
| | | ○ | NICUの面会の現状と課題 | 立花 亜紀子 （地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 看護部） |
| | | ○ | CDC:NICUにおける感染予防と管理のための勧告：黄色ブドウ球菌 | 八木 哲也 （名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学） |
| | | ○ | NICUにおける中心静脈ラインの管理 | 美島 路恵 （東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部門 感染対策部） |
| 委員会企画11 | JHAISの呼吸 巻の型 サーベイランス新り | ○ | SSIサーベイランス報告 | 佐和 章弘 （広島国際大学） |
| | | ○ | デバイスサーベイランス報告①：ICU・一般病棟部門 | 藤田 烈 （国際医療福祉大学） |
| | | ○ | デバイスサーベイランス報告②：NICU部門 | 坂本 晴世 （国際医療福祉大学） |
| | | ○ | 事例判定：SSI | 清水 潤三 （市立豊中病院） |
| | | 未定 | 事例判定：CLABSI | 窪田 志穂 （国立国際医療研究センター病院） |
| | | ○ | 事例判定：CAUTI | 縣 智香子 （東京医科歯科大学大学院） |
| | | 未定 | 事例判定：VAE | 佐々木 顕子 （北里大学病院） |
| 委員会企画12 | 換気の評価と改善 | ○ | COVID-19感染対策サマリー | 坂本 史衣 （聖路加国際病院 QIセンター感染管理室） |
| | | × | 換気に関する基礎知識 | 岡 幸彦 （アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー EPS事業推進室） |
| | | ○ | COVID-19のクラスター感染が発生した医療施設の空調換気性状 | 林 基哉 （北海道大学大学院 工学研究院 建築都市部門） |
| | | ○ | 換気の評価と改善への取り組み | 古谷 直子 （亀田総合病院 地域感染症疫学・予防センター） |

| セッション名 | セッションテーマ | オンデマンド配信 | 演題名 | 演者(所属) ※敬称略 |
|---|--------------------------------------|----------|---|--|
| 合同シンポジウム1 | コロナ禍を踏まえた精神科領域の感染対策 | ○ | 精神科病院の感染対策の特殊性とコロナ禍における対応 | 鈴木 健一 (地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター) |
| | | ○ | クラスター発生病院への感染対策支援から学んだこと | 西村 和子 (公益財団法人井之頭病院 感染防止対策室) |
| | | ○ | 「精神科領域の感染制御を考える会」会員施設でのコロナ対策の実際 ～これまでのコロナ対策と今後の対策のありかた～ | 川内 健史 (医療法人社団 碧水会 長谷川病院) |
| | | ○ | COVID感染対策における精神科病棟の現状 ～厚生労働科学研究・障害者総合福祉推進事業を通して～ | 糠信 憲明 (広島国際大学 看護学部) |
| 合同シンポジウム2 | 手術室での感染対策手技を見ようー消化器外科編 | ○ | 手術室での感染対策手技を見ようー消化器外科編 | 畑 啓昭 (国立病院機構 京都医療センター 外科・感染制御部) |
| | | ○ | 特別発言 | 大久保 憲 (医療法人幸寿会平岩病院) |
| 合同シンポジウム3 | 新型コロナウイルスパンデミック期における 職業感染予防策と危機管理 | ○ | 筋肉内注射に関連した針刺し切創の実態と予防策 | 細見 由美子 (International Safety Center) |
| | | ○ | 新型コロナウイルス感染症の対応時におけるPPE不足の実態調査 | 網中 真由美 (国立看護大学校) |
| | | ○ | クラスターが発生した施設におけるPPE利用を含む 職業感染管理の実態と課題 | 黒須 一見 (国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 実地疫学研究センター) |
| | | ○ | COVID-19対策におけるN95レシレーター (N95/DS2マスク) の 除染と再利用及びN95DECONの活動 | 吉川 徹 (独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所) |
| | | ○ | 医療用感染防護具の適正使用等に係る 厚生労働省の研究班の取り組みについて | 満田 年宏 (東京女子医科大学感染制御科) |
| パネルディスカッション | 外科医の取扱説明書 | ○ | - | - |
| 私立医科大学病院感染対策推進会議 | COVID-19パンデミックが病院の感染対策に 与えた影響 | ○ | 耐性菌の発生状況に与えた影響 | 安藤 隆 (東京慈恵会医科大学第三病院) |
| | | ○ | 抗菌薬使用量に与えた影響 | 小林 義和 (北里大学北里研究所病院) |
| | | ○ | 手指衛生剤消費量に与えた影響 | 小松崎 直美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院) |
| ランチョンセミナー 1 共催：アステラス製薬株式会社/デンカ株式会社 | - | × | 医療関係者の予防接種 ～COVID-19とインフルエンザの対応を含めて～ | 中野 貴司 (川崎医科大学 小児科学) |
| ランチョンセミナー 2 共催：ウソ電機株式会社 | 有人環境で活用される 波長222nm紫外線消毒技術の最前線 | ○ | 院内でのCare222@の活用と導入 | 松本 哲哉 (国際医療福祉大学 医学部感染症学講座 /国際医療福祉大学成田病院 感染制御部) |
| | | ○ | 眼の安全性と除菌効果 - 動物試験から長期前向き臨床観察まで - | 海津 幸子 (島根大学 医学部眼科学講座) |
| ランチョンセミナー 3 共催：テルモ株式会社 | - | × | サイレントパンデミック時代の環境整備ー紫外線技術の最新エビデンスー | 大毛 宏喜 (広島大学病院 感染症科) |
| ランチョンセミナー 4 共催：株式会社ジェイ・エム・エス | - | × | 感染防止のための環境衛生 ～ニードルレスコネクタ表面の汚染防止～ | 梅澤 和夫 (東海大学医学部総合診療学系救急救命学 /東海大学医学部附属病院医療監査部院内感染対策室) |
| ランチョンセミナー 5 共催：サファイ株式会社 | - | × | 日本における髄膜炎菌感染症のリスクと予防 | 西 順一郎 (鹿児島大学大学院医学総合研究科 微生物学分野 /鹿児島大学病院 感染制御部) |
| ランチョンセミナー 6 共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 | - | ○ | 血管アクセスデバイスとしての末梢挿入式中心静脈カテーテルの位置づけ -血液内科の立場から- | 橋本 由徳 (鳥取県立中央病院 血液内科) |
| ランチョンセミナー 7 共催：スリーエムジャパン株式会社 | - | ○ | 看護職員に向けた洗浄・滅菌に対する教育の取り組み ～ICTが滅菌供給部門に介入する意義～ | 大津 佐知江 (大分県立病院) |
| ランチョンセミナー 8 共催：MSD株式会社 | - | × | 抗菌薬の特徴を考慮した院内肺炎治療の考え方 | 中村 茂樹 (東京医科大学 微生物学分野) |
| | | × | ASTが関わる薬剤耐性グラム陰性桿菌感染症と治療の動向 | 千酌 浩樹 (鳥取大学医学部臨床感染症学講座) |
| ランチョンセミナー 9 共催：杏林製薬株式会社 | - | × | Withコロナ時代に知っておくべき感染制御 | 野田 洋子 (金沢医科大学病院 医療安全部感染制御室) |
| ランチョンセミナー10 共催：O&M Halyard Japan合同会社 | - | ○ | COVID-19パンデミックを通じて実感したこと ～顔面曝露対策の必要性～ | 小針 朱子 (福島県立医科大学附属病院 感染制御部) |
| ランチョンセミナー11 共催：アステラス製薬株式会社 | - | × | C. difficile 感染症診療と感染制御 ～再発をさせないために～ | 國島 広之 (聖マリアンナ医科大学 感染症学講座) |
| ランチョンセミナー12 共催：サラヤ株式会社 | - | ○ | 医療環境のシンクを含めた湿潤環境における感染リスクとその対策 | 中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部・感染症科) |
| ランチョンセミナー13 共催：アボット ダイアグノスティクスメディカル株式会社 | - | ○ | COVID-19の診療と感染対策 -検査の活用や今後の動向を含めて- | 松本 哲哉 (国際医療福祉大学 医学部感染症学講座 /国際医療福祉大学 成田病院感染制御部) |
| ランチョンセミナー14 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社 | - | × | 医療関係者の带状疱疹予防の重要性について考える 医療関係者のためのワクチンガイドラインより 乾燥組換え带状疱疹ワクチン シングリックス筋注用を中心に | 三鴨 廣繁 (愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学) |
| ランチョンセミナー15 共催：日本ポール株式会社 | - | ○ | 水処理エンジニアによるレジオネラ対策の実際 | 縣 邦雄 (アクアス株式会社) |
| ランチョンセミナー16 共催：ギリアド・サイエンス株式会社 メディカルアフェアーズ本部 | - | × | いろいろなチームで考えるHIV感染症の課題とこれからの診療 | 今橋 真弓 (名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部) |
| ランチョンセミナー17 共催：丸石製薬株式会社 | - | ○ | AMR対策と地域連携 ～ポストパンデミックを見据えて～ | 具 芳明 (東京医科歯科大学大学院医学総合研究科 統合臨床感染症学分野) |
| イブニングセミナー 1 共催：Meiji Seikaファルマ株式会社 | - | × | COVID-19における検査の変遷とこれから | 青木 弘太郎 (東邦大学 医学部医学科 微生物・感染症学講座) |
| イブニングセミナー 2 共催：株式会社モレーンコーポレーション | - | × | 新型コロナウイルス禍における災害への備え ～東日本大震災を経験した石巻赤十字病院の取り組み～ | 西條 美恵 (石巻赤十字病院 感染管理室) |
| 共催シンポジウム 共催：ギリアド・サイエンス株式会社 メディカルアフェアーズ本部 | これからのCOVID-19のペイシェントフロー | × | これまでの感染症対策からの学びと今後の課題 ：市民の行動変容とVaccine hesitancy | 町田 征己 (東京医科大学 公衆衛生学分野 / 東京医科大学病院 感染制御部) |
| | | × | これからのCOVID-19のペイシェントフロー | 出雲 雄大 (日本赤十字社医療センター 呼吸器内科) |

※一般演題(口演・ポスター)は会期終了後のオンデマンド配信はございません。

※第38回ICD講習会は事前申し込みいただいた方に、ICD制度協議会より別途視聴方法等についてメールでご案内させていただきます。
本学会のWEB視聴ページからのご視聴は出来ません。また、オンデマンド配信もございません。